

<p>事例項目</p>	<p>門真市事業仕分けの実施における市民参画の取り組みについて <市民判定員方式による事業仕分けの実施></p>
<p>事例発生時期</p>	<p>平成22(2010)年8月</p>
<p>担当課</p>	<p>総合政策部 行財政改革推進課</p>
<p>事例概要</p>	<p>①平成22(2010)年4月、市は、市民判定員が事業の評価を行う「門真市事業仕分け」を実施するに当たり、無作為抽出した2,000名の市民に、市民判定員への参加の意向確認を行った。【資料(1)－17－1】 ②5月、60名の市民判定員の定員に対して、195名からの参加希望があった。 ③6月7日、公開抽選により、市民判定員60名及び30名の予備市民判定員の選任を行った。 ④8月6日、23名の市民判定員のご参加を頂き、事前説明会及び模擬事業仕分けを実施した。 ⑤8月29日、保健福祉センターにおいて、40名の市民判定員のご参加を頂き、「門真市事業仕分け」を実施した。 【資料(1)－17－2】</p>
<p>事業効果など</p>	<p>○当日(8月29日)、市民判定員を対象としたアンケート調査(39名から回答)において ・「市の業務や行革に理解や興味が深まったか」との設問に対して、76.9%の方より「深まった」との回答を頂いた。 ・「今後機会があれば、事業の評価を行う場へ参加してみたいか」との設問に対して、69.2%の方より「そう思う」との回答を頂いた。 【資料(1)－17－3】 ○市が実施している事業の一部を、直接、より多くの市民にお伝えすることができた。 ○少しでも市役所を身近に感じていただける契機となった。 ○「公民協働」による市政運営の推進につながった。</p>
<p>添付書類</p>	<p>【資料(1)－17－1】…広報かどま平成22(2010)年5月号 【資料(1)－17－2】…広報かどま平成22(2010)年8月号 【資料(1)－17－3】…平成22年度門真市事業仕分け市民判定員及び傍聴者アンケート集計表</p>